

## 作物統計調査

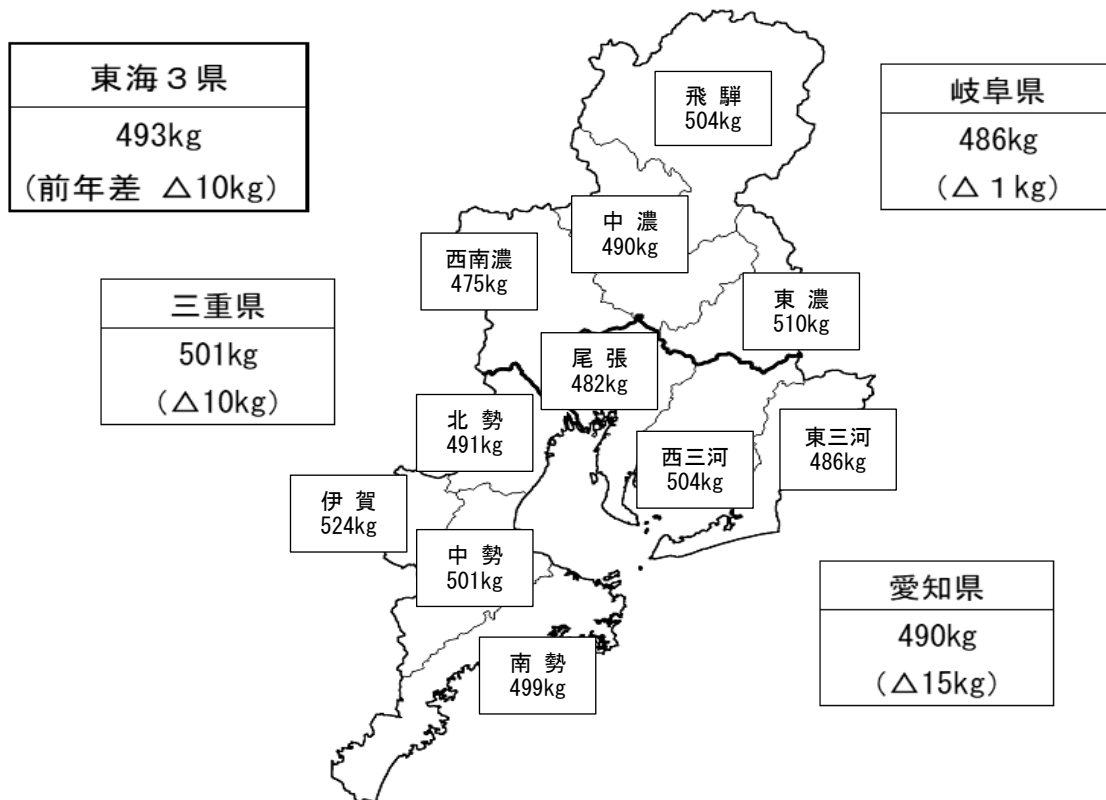
### 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

— 10a当たり予想収量は493kgの見込み —

#### 【調査結果の概要】

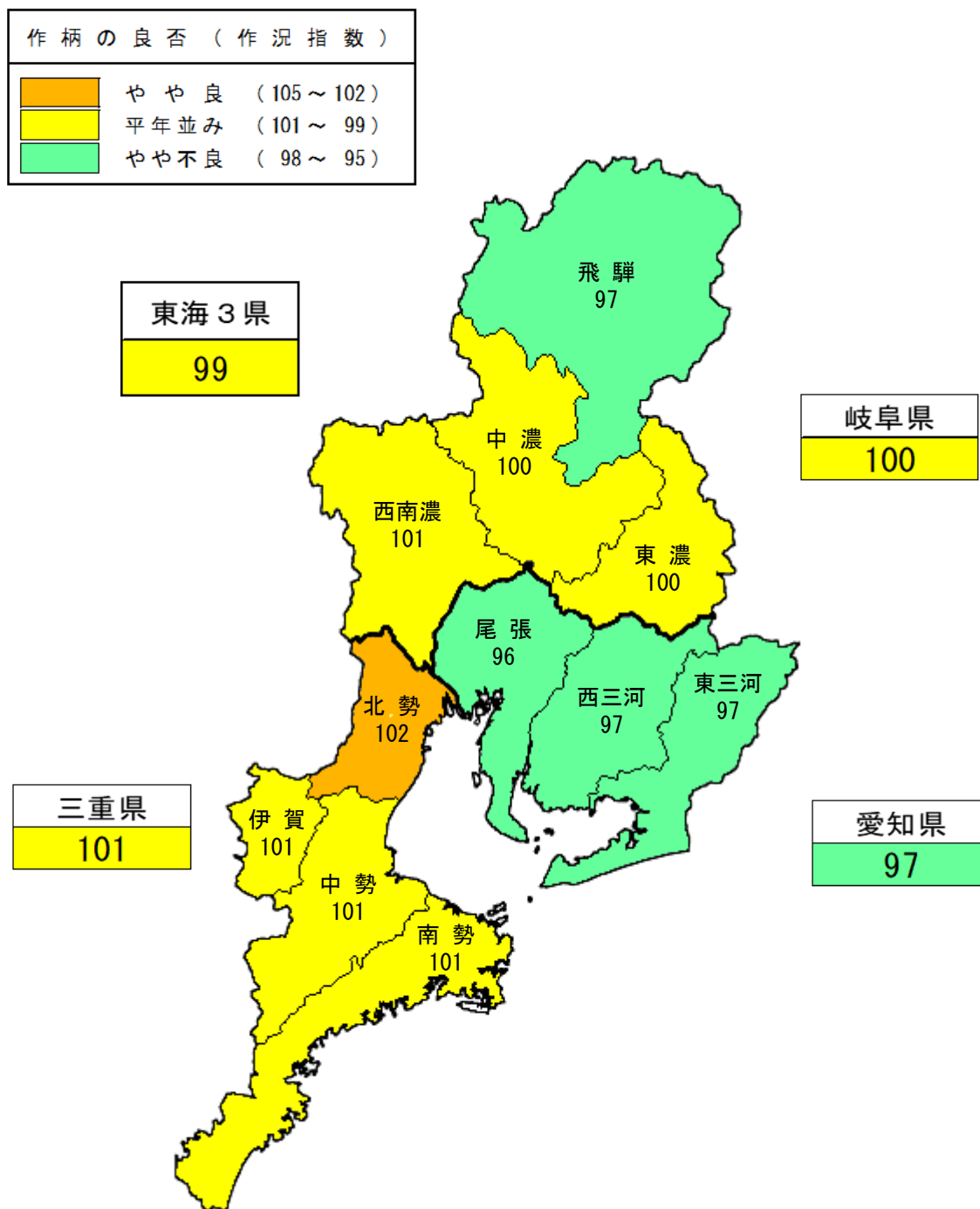
- 1 東海3県（岐阜、愛知及び三重）における令和5年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は8万400ha（前年産に比べ1,100ha減少）と見込まれる。うち主食用作付面積は6万9,400ha（前年産に比べ900ha減少）と見込まれる。
- 2 9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は493kgと見込まれる。また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は99と見込まれる。
- 3 主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は34万1,400t（前年産に比べ1万2,100t減少）と見込まれる。

図1 県・作柄表示地帯別10a当たり予想収量（9月25日現在）  
（1.70mmのふるい目幅ベース）



- 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日時点）を除いた面積である。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。なお、農家等が使用しているふるい目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）ベースの作況指数は2ページを参照。
- 予想収穫量調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。
- 東海3県は東海農政局が管轄する地域（静岡県を含まない。）であり、全国農業地域における東海（静岡県を含む。）とは一致しない。

図2 県・作柄表示地帯別作況指数（9月25日現在）  
（農家等が使用しているふるい目幅ベース）



注： 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率であり、県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

◎ 累年データ

水稻の年次別推移

1 東海3県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用 ha					
平成26年産	86,300	82,900	493	408,700	80,900	398,300	99
27	85,100	78,900	492	388,200	77,000	378,800	99
28	84,600	77,500	511	396,300	75,600	386,500	102
29	84,100	76,700	494	379,200	74,900	369,700	99
30	83,800	77,600	493	382,500	75,300	371,200	98
令和元	83,300	77,400	486	375,900	75,000	364,100	97
2	82,800	77,000	480	369,900	74,500	357,900	96
3	82,100	74,300	490	364,300	72,400	355,100	98
4	81,500	72,100	503	362,400	70,300	353,500	101
5 (概数值)	80,400	..	493	..	69,400	341,400	99

資料：農林水産省統計部『作物統計』（以下、4まで同じ。）

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である（以下、4まで同じ。）。

2 10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量（令和5年産は予想）である（以下、4まで同じ。）。

3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である（以下、4まで同じ。）。

4 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率であり、平成26年産以前は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、平成27年産から令和元年産までは、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（東海は1.80mm）以上に選別された玄米を基に算出していた。令和2年産以降は、県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である（以下、4まで同じ。）。

5 「..」は、未発表であることを示している（以下、4まで同じ。）。

## 2 岐阜県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用 ha					
平成26年産	25,300	24,100	482	116,200	23,500	113,300	99
27	25,200	22,500	481	108,200	22,100	106,300	99
28	25,300	22,200	486	107,900	21,700	105,500	100
29	25,200	21,900	488	106,900	21,500	104,900	100
30	25,100	22,500	478	107,600	21,500	102,800	97
令和元	25,100	22,500	482	108,500	21,400	103,100	99
2	25,000	22,500	470	105,800	21,400	100,600	96
3	24,800	21,600	478	103,200	20,700	98,900	98
4	24,600	20,700	487	100,800	20,000	97,400	100
5 (概数値)	24,500	..	486	..	19,700	95,700	100

## 3 愛知県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用 ha					
平成26年産	30,500	29,300	504	147,700	28,400	143,100	99
27	30,000	28,100	503	141,300	27,200	136,800	99
28	29,700	27,700	521	144,300	26,900	140,100	103
29	29,400	27,500	512	140,800	26,600	136,200	101
30	29,200	27,600	499	137,700	26,700	133,200	98
令和元	29,000	27,500	499	137,200	26,600	132,700	98
2	28,900	27,400	490	134,300	26,400	129,400	96
3	28,700	26,400	496	130,900	25,800	128,000	98
4	28,500	25,900	505	130,800	25,200	127,300	100
5 (概数値)	28,000	..	490	..	24,700	121,000	97

## 4 三重県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用 ha					
平成26年産	30,400	29,500	491	144,800	28,900	141,900	98
27	29,900	28,300	490	138,700	27,700	135,700	98
28	29,600	27,600	522	144,100	27,000	140,900	105
29	29,500	27,400	480	131,500	26,800	128,600	95
30	29,400	27,500	499	137,200	27,100	135,200	100
令和元	29,200	27,300	477	130,200	26,900	128,300	95
2	28,900	27,100	479	129,800	26,700	127,900	96
3	28,600	26,300	495	130,200	25,900	128,200	99
4	28,300	25,600	511	130,800	25,200	128,800	102
5 (概数値)	28,000	..	501	..	24,900	124,700	101

## 【調査結果】

### 1 東海3県

#### (1) 作付面積

令和5年産水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）は8万400ha（前年産に比べ1,100ha減少）と見込まれる。

なお、水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は6万9,400ha（前年産に比べ900ha減少）と見込まれる。

#### (2) 作柄概況

穂数は、5月下旬から6月下旬の日照不足の影響により分けつが抑制されたことから、東海3県ともにやや少なくなった。

1穂当たりもみ数は、7月上旬から8月中旬にかけて高温・多照で推移した三重県で多く、岐阜県でやや多く、愛知県で平年並みとなった。

全もみ数は、三重県でやや多く、岐阜県で平年並み、愛知県でやや少なくなった。

登熟は、愛知県及び三重県で平年並み、岐阜県でやや不良と見込まれる。

9月25日現在における水稲の10a当たり予想収量は493kg（平年に比べ△5kg）と見込まれる。県別は、岐阜県で486kg（平年に比べ+1kg）、愛知県で490kg（同△17kg）、三重県で501kg（同+1kg）と見込まれる。

農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は99の「平年並み」と見込まれる。県別は、三重県で101の「平年並み」、岐阜県で100の「平年並み」、全もみ数がやや少なかった愛知県で97の「やや不良」と見込まれる。

#### (3) 予想収穫量（主食用）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は34万1,400t（前年産に比べ1万2,100t減少）と見込まれる。

表 令和5年産水稲の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

区 分	作付面積（青刈り面積を含む。）			10a当たり予想収量			主食用 作付面積 ②	予想収穫量 （主食用） ③=①×②
	実 数	前年産との比較		実 数 ①	前年産との比較			
		対 差	対 比		対 差	対 差		
東 海 3 県	80,400 ha	△ 1,100 ha	99 %	493 kg	△ 5 kg	△ 10 kg	69,400 ha	341,400 t
岐 阜 県	24,500	△ 100	100	486	1	△ 1	19,700	95,700
愛 知 県	28,000	△ 500	98	490	△ 17	△ 15	24,700	121,000
三 重 県	28,000	△ 300	99	501	1	△ 10	24,900	124,700

注：1 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 予想収穫量（主食用）については県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

3 10a当たり予想収量の平年との比較は、10a当たり平年収量との比較である。

## 2 岐阜県

### (1) 作付面積

令和5年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は2万4,500ha（前年産に比べ100ha減少）と見込まれる。

なお、主食用作付面積は1万9,700ha（前年産に比べ300ha減少）と見込まれる。

### (2) 作柄概況

穂数は、飛騨地帯で6月中旬の日照不足の影響により分けつが抑制されたことから、やや少なくなった。

1穂当たりもみ数は、穂数の減少による補償作用があったことから、やや多くなった。

全もみ数は、穂数がやや少なく、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、平年並みとなった。

登熟は、8月中旬以降、高温で推移したことにより、粒の肥大・充実不良が懸念されるため、やや不良と見込まれる。

9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は486kg（平年に比べ+1kg）と見込まれる。

作柄表示地帯別は、西南濃で475kg（平年に比べ+6kg）、中濃で490kg（同±0kg）、東濃で510kg（同±0kg）、飛騨で504kg（同△17kg）と見込まれる。

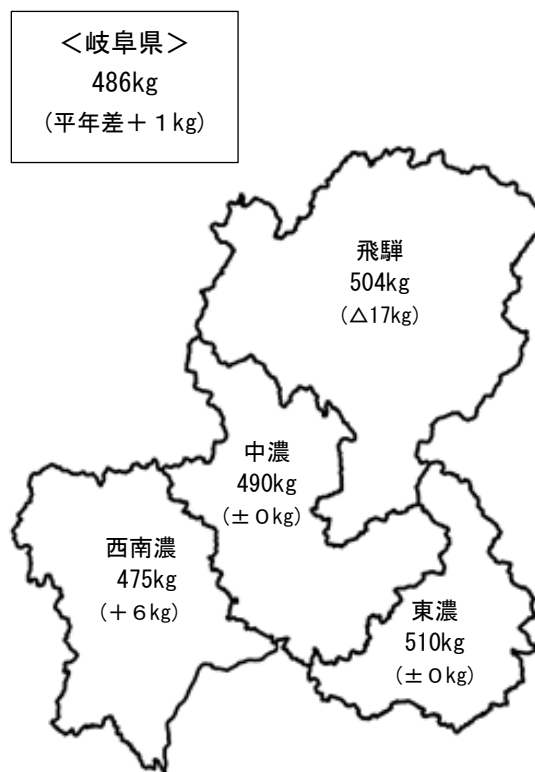
岐阜県の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.80mm）の作況指数は100の「平年並み」と見込まれる。

作柄表示地帯別は、西南濃で101、中濃及び東濃で100の「平年並み」、全もみ数が少なかった飛騨で97の「やや不良」と見込まれる。

### (3) 予想収穫量（主食用）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は9万5,700t（前年産に比べ1,700t減少）と見込まれる。

図3 作柄表示地帯別10a当たり予想収量  
（9月25日現在）  
（1.70mmのふるい目幅ベース）



### 3 愛知県

#### (1) 作付面積

令和5年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は2万8,000ha（前年産に比べ500ha減少）と見込まれる。

なお、主食用作付面積は2万4,700ha（前年産に比べ500ha減少）と見込まれる。

#### (2) 作柄概況

穂数は、5月下旬から6月中旬の日照不足の影響により分けつが抑制されたことから、やや少なくなった。

1穂当たりもみ数は、平年並みとなった。

全もみ数は、穂数がやや少なく、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、やや少なくなった。

登熟は、平年並みと見込まれる。

9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は490kg（平年に比べ△17kg）と見込まれる。

作柄表示地帯別は、尾張で482kg（平年に比べ△20kg）、西三河で504kg（同△13kg）、東三河で486kg（同△15kg）と見込まれる。

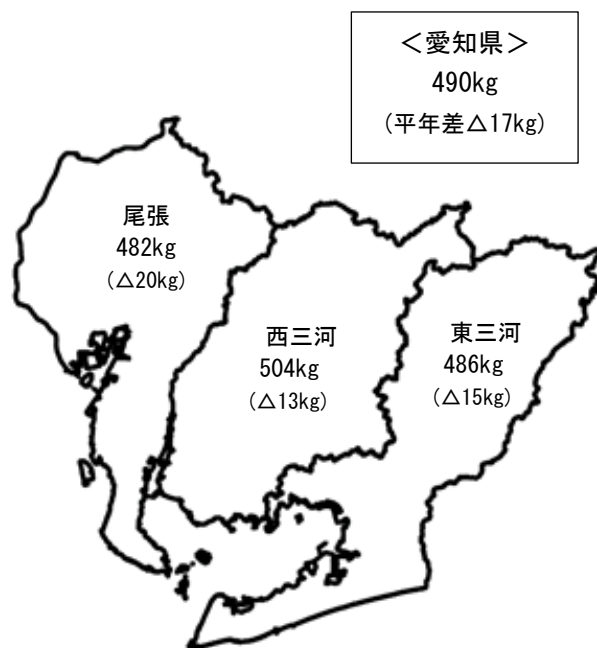
愛知県の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.85mm）の作況指数は97の「やや不良」と見込まれる。

作柄表示地帯別は、尾張で96、西三河及び東三河で97の「やや不良」と見込まれる。

#### (3) 予想収穫量（主食用）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は12万1,000t（前年産に比べ6,300t減少）と見込まれる。

図4 作柄表示地帯別10a当たり予想収量  
（9月25日現在）  
（1.70mmのふるい目幅ベース）



## 4 三重県

### (1) 作付面積

令和5年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は2万8,000ha（前年産に比べ300ha減少）と見込まれる。

なお、主食用作付面積は2万4,900ha（前年産に比べ300ha減少）と見込まれる。

### (2) 作柄概況

穂数は、5月下旬から6月中旬の日照不足の影響により分けつが抑制されたことから、やや少なくなった。

1穂当たりもみ数は、7月上旬から下旬にかけて高温・多照で推移したことから、多くなった。

全もみ数は、穂数がやや少なく、1穂当たりもみ数が多くなったことから、やや多くなった。

登熟は、平年並みと見込まれる。

9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は501kg（平年に比べ+1kg）と見込まれる。

作柄表示地帯別は、北勢で491kg（平年に比べ+1kg）、中勢で501kg（同+1kg）、南勢で499kg（同+1kg）、伊賀で524kg（同+2kg）と見込まれる。

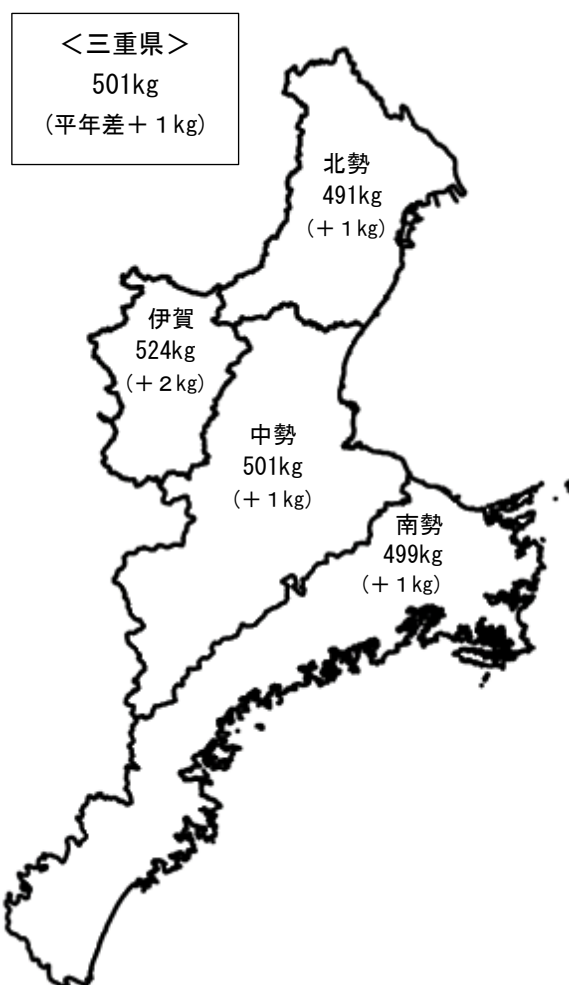
三重県の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.85mm）の作況指数は101の「平年並み」と見込まれる。

作柄表示地帯別は、全もみ数が多かった北勢で102の「やや良」、中勢、南勢及び伊賀で101の「平年並み」と見込まれる。

### (3) 予想収穫量（主食用）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は12万4,700t（前年産に比べ4,100t減少）と見込まれる。

図5 作柄表示地帯別10a当たり予想収量  
（9月25日現在）  
（1.70mmのふるい目幅ベース）





## 【統 計 表】

### 統計表一覧

ページ

- 1 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量…………… 10
- 2 令和5年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合（9月25日現在）…………… 11

### 利用上の注意

- 1 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		6 桁 (10万)	5 桁 (1 万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100以下)
四捨五入する桁数 (下から)		2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前 (原数)	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値 (統計数値)	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。  
「…」：事実不詳又は調査を欠くもの  
「△」：負数又は減少したもの
- 3 この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量」（東海農政局）による旨を記載してください。

# 1 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

区 分	作付面積（青刈り面積を含む。）			10 a 当たり 予想収量 ①	農家等が使用している ふるい目幅で選別 （岐阜県1.80mm、愛知県及び三重県1.85mm）		
	実 数	前 年 産 と の 比 較			10 a 当たり 予想収量 ②	10 a 当たり 平年収量 ③	作況指数 ④=②/③
		対 差	対 比		kg	kg	
	ha	ha	%	kg	kg	kg	
東海3県	80,400	△ 1,100	99	493	478	481	99
岐 阜 県	24,500	△ 100	100	486	476	475	100
西 南 濃	14,500	100	101	475	463	457	101
中 濃	3,990	△ 210	95	490	482	481	100
東 濃	3,200	△ 60	98	510	503	501	100
飛 騨	2,800	△ 10	100	504	495	511	97
愛 知 県	28,000	△ 500	98	490	472	489	97
尾 張	13,800	△ 300	98	482	466	486	96
西 三 河	9,290	△ 160	98	504	484	497	97
東 三 河	4,890	△ 90	98	486	470	484	97
三 重 県	28,000	△ 300	99	501	483	478	101
北 勢	8,940	△ 110	99	491	475	466	102
中 勢	10,200	△ 100	99	501	480	477	101
南 勢	4,100	△ 110	97	499	487	481	101
伊 賀	4,750	△ 50	99	524	505	502	101

区 分	主食用 作付面積 ⑤	予想収穫量 (主食用) ⑥=①×⑤	作柄概況（平年比較）			
			穂数の多少	1 穂当たり もみ数の 多 少	全もみ数 の 多 少	登熟の良否
	ha	t				
東海3県	69,400	341,400	…	…	…	…
岐 阜 県	19,700	95,700	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良
西 南 濃	…	…	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良
中 濃	…	…	平年並み	やや多い	平年並み	やや不良
東 濃	…	…	平年並み	平年並み	平年並み	やや良
飛 騨	…	…	少ない	やや多い	少ない	やや良
愛 知 県	24,700	121,000	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み
尾 張	…	…	少ない	平年並み	やや少ない	やや良
西 三 河	…	…	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み
東 三 河	…	…	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み
三 重 県	24,900	124,700	やや少ない	多 い	やや多い	平年並み
北 勢	…	…	やや少ない	多 い	多 い	やや不良
中 勢	…	…	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
南 勢	…	…	平年並み	多 い	やや多い	やや不良
伊 賀	…	…	平年並み	多 い	やや多い	やや不良

- 注：1 ①10 a 当たり予想収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。  
2 ②10 a 当たり予想収量、③10 a 当たり平年収量及び④作況指数については、県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。  
3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日時点）を除いた面積である。

## 2 令和5年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合（9月25日現在）

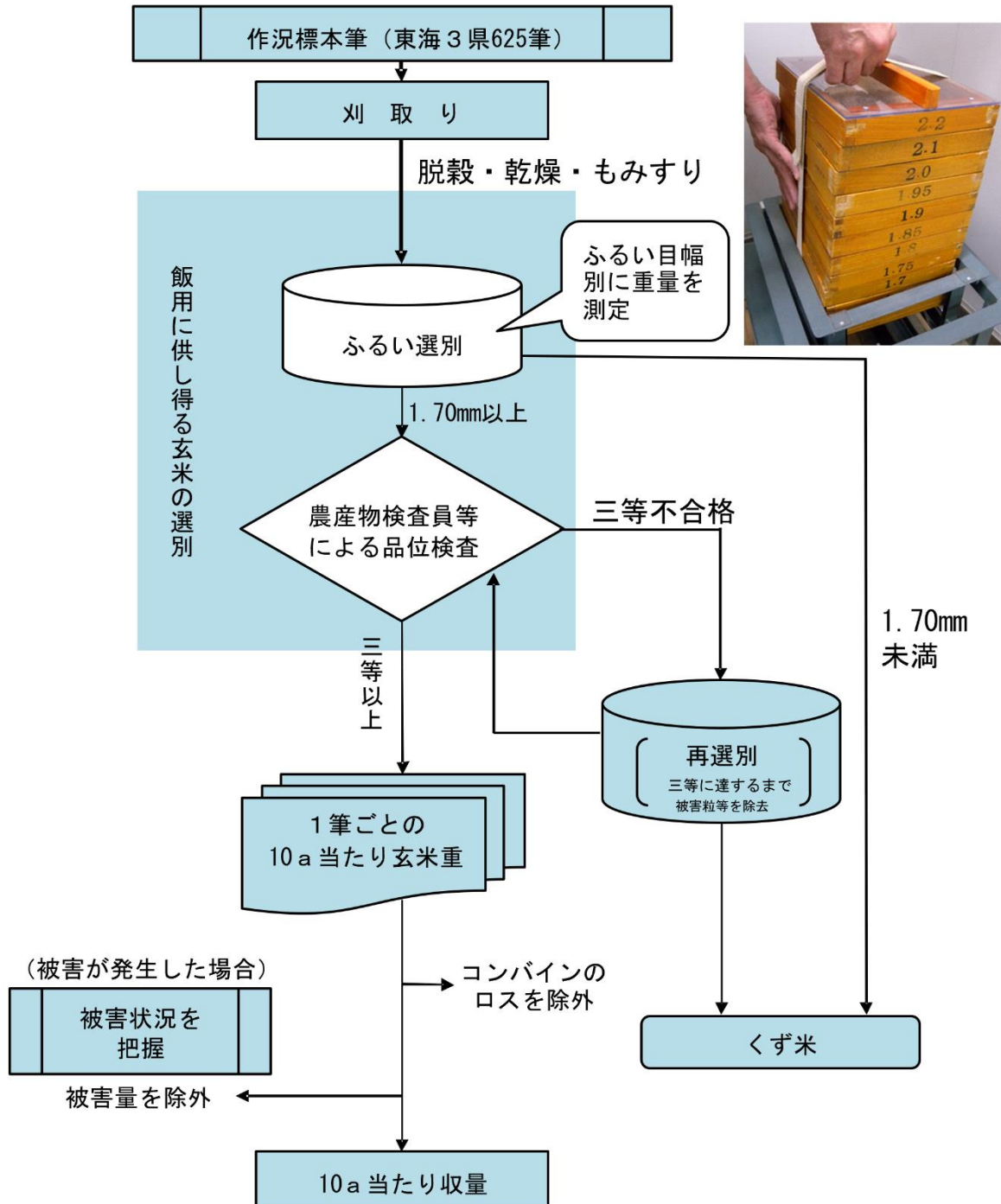
区 分	出 穂 期								刈取済面積 割 合
	始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較		対前年差	対前年差		
				対前年差	対前年差				
	月 日	月 日	月 日					%	
岐 阜 県	7. 20	8. 19	8. 31	2日早	1日早			47	
西 南 濃	7. 20	8. 30	9. 8	2日早	2日早			34	
中 濃	7. 16	8. 5	8. 28	2日早	1日早			62	
東 濃	7. 22	8. 2	8. 17	2日早	1日早			67	
飛 騨	7. 22	8. 4	8. 15	1日早	1日早			55	
愛 知 県	7. 22	8. 18	9. 5	1日早	並 み			39	
尾 張	7. 28	8. 25	9. 7	1日早	1日早			25	
西 三 河	7. 17	8. 10	8. 31	1日早	並 み			55	
東 三 河	7. 14	8. 9	9. 6	1日早	1日遅			48	
三 重 県	7. 13	7. 21	8. 9	2日早	1日早			97	
北 勢	7. 8	7. 23	8. 15	2日早	1日早			95	
中 勢	7. 12	7. 18	8. 5	1日早	並 み			99	
南 勢	7. 9	7. 17	7. 31	1日早	並 み			100	
伊 賀	7. 23	7. 27	8. 11	2日早	2日早			89	

注： 出穂期の始期、最盛期、終期とは、出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。

【参考1】

## 収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考2】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。

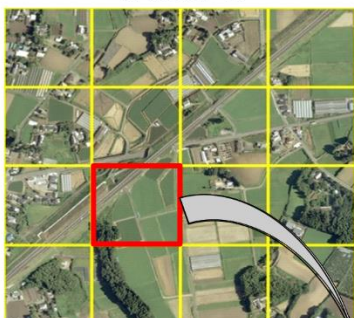


## 【参考2】

### ふで 作況標本筆とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆と呼ぶ。）  
は、各県の水稻の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のよう  
に各地で選定し（東海3県で625筆）調査している。

全国の全ての土地  
（母集団）



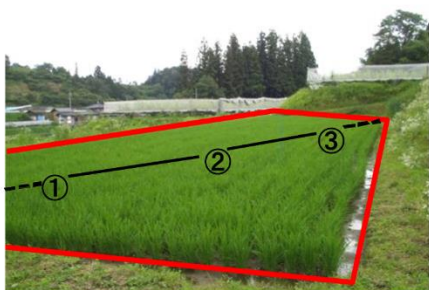
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区  
（200m四方の土地）



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆  
（東海3県で625筆）



- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【調査の概要】

・面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

・作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kome/gaiyou/](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/)

○ 調査対象数

・作付面積調査

標本単位区数：2,535単位区

・予想収穫量調査

作況標本筆：625筆 作況基準筆：11筆

○ 令和5年産作況指数の算出に用いるふるい目幅

令和5年産の作況指数の算出に用いるふるい目幅									
都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅
北海道	1.90mm	埼玉	1.80mm	<b>岐阜</b>	<b>1.80mm</b>	鳥取	1.85mm	佐賀	1.85mm
青森	1.90mm	千葉	1.80mm	静岡	1.80mm	島根	1.90mm	長崎	1.80mm
岩手	1.90mm	東京	1.80mm	<b>愛知</b>	<b>1.85mm</b>	岡山	1.85mm	熊本	1.85mm
宮城	1.90mm	神奈川	1.80mm	<b>三重</b>	<b>1.85mm</b>	広島	1.85mm	大分	1.80mm
秋田	1.90mm	新潟	1.85mm	滋賀	1.90mm	山口	1.85mm	宮崎	1.80mm
山形	1.90mm	富山	1.90mm	京都	1.85mm	徳島	1.80mm	鹿児島	1.80mm
福島	1.85mm	石川	1.85mm	大阪	1.80mm	香川	1.80mm	沖縄	1.80mm
茨城	1.85mm	福井	1.90mm	兵庫	1.85mm	愛媛	1.85mm		
栃木	1.85mm	山梨	1.80mm	奈良	1.80mm	高知	1.80mm		
群馬	1.80mm	長野	1.85mm	和歌山	1.80mm	福岡	1.85mm		

○ 作柄表示地帯

東海3県の各作柄表示地帯の包括範囲は、下表のとおり。

区分	地帯名	包 括 市 町 村
岐阜県	西南濃	岐阜市、大垣市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、海津市、岐南町、笠松町、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町
	中濃	関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町
	東濃 飛驒	多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市 高山市、飛驒市、下呂市、白川村
愛知県	尾張	名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町
	西三河	岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町
	東三河	豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村
三重県	北勢	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
	中勢	津市、松阪市、多気町、明和町、大台町
	南勢	伊勢市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町
	伊賀	名張市、伊賀市

### 【水稲調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

### 【Webサイト掲載案内】

- ・ この統計調査結果は、東海農政局Webサイトの「農林水産統計」で御覧いただけます。  
<https://www.maff.go.jp/tokai/tokei/kohyo/schedule/index.html>
- ・ 全国値の詳細は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。  
[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kome/#y3](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y3)
- ・ 本資料のうち、作付面積は概数値であり、確定した詳細な数値は、Webサイトに掲載（令和6年2月予定）します。
- ・ 次回（10月25日現在）の公表は、令和5年11月上旬の予定です。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、Webサイトでお知らせします。

### 【関連リンク】

- ・ 農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局  
<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>
- ・ 気象庁  
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

### お問合せ先

#### ◎本統計調査結果について

東海農政局 統計部 生産流通消費統計課  
電話：052-763-4732

#### ◎農林水産統計全般について

東海農政局 統計部 統計企画課  
電話：052-763-4730



### 政府統計

政府統計の総合窓口

(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



令和5年11月1日現在で、2023年漁業センサスを実施します。  
(流通加工調査については令和6年1月1日現在)